



## 南多摩高次脳機能障害支援センター 平成 27 年度活動報告

永生会高次脳機能障害支援事業推進室

○平野 彩 渡邊 要一 江村 俊平 都丸 哲也

### 【はじめに】

当法人は平成 25 年 6 月より、東京都高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実」事業を受託し、南多摩高次脳機能障害支援センターとして活動している。本事業の目的は「高次脳機能障害者のリハビリテーションの質の向上と関係機関等の連携を進め、地域で高次脳機能障害の特性に対応した切れ目のないリハビリを提供できる体制の充実にを図る」ことである。今回は平成 27 年度の事業結果を報告する。

### 【事業内容】

- ① 相談事業 ② 症例検討改及び圏域連絡会の開催 ③ 専門職向け研修の開催

### 【結果】

相談件数は 64 件であった。②症例検討会は 2 回開催した。連絡会は南多摩 5 市の行政機関担当者が集まる圏域連絡会を 1 回、町田市の医療施設・福祉施設の連携強化を図るための連絡会を 2 回行った。さらに協力施設連絡会と法人内の運営会議を月 1 回定例として、それぞれ 12 回開催した。③研修会は高次脳ゼミを 2 回実施し、第 1 回 126 名、第 2 回が 99 名の参加を得た。アンケート回答者の内訳は専門職 57%、当事者・家族 30%、行政職 3%、その他 10%。専門職の内訳は医療職 48%、介護・福祉職 52%であった。高次脳ゼミに対する満足度は 90.2%。その他に昨年と同様、専門職向けの研修会として生活・就労支援セミナーを、また新規事業として社会保険労務士を招き、家族相談会開催した。

### 【これまでの活動】

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
相談件数		11 件	10 件	64 件
症例検討会		2 回	1 回	2 回
連絡会の開催回数		10 回	14 回	14 回
高次脳ゼミ	参加者	293 名 (全 3 回)	320 名 (全 3 回)	225 名 (全 2 回)
	参加内訳	専門職 57%、当事者・家族 33%、行政職 2%、その他 4%	専門職 70%、当事者・家族 20%、行政職 2%、その他 6%	専門職 57%、当事者・家族 30%、行政職 3%、その他 10%
	専門職内訳	医療職 81%、介護・福祉職 19%	医療職 58%、介護・福祉職 42%	医療職 48%、介護福祉職 52%

### 【考察および今後の展望】

相談件数が昨年度に比べて大幅に増加しており、高次脳機能障害者支援についての潜在的なニーズの掘り起こしが徐々に進んでいる。一方で、他圏域に比べ相談件数が多いとは言えず、今後も普及啓発活動を引き続き行っていく必要がある。相談件数は増加しているものの、圏域内には支援促進事業を実施していない市や家族会の存在しない市もあり、高次脳機能障害を専門とした福祉サービスも乏しく、依然として連携には苦慮している。今後は相談支援を実施する一方で、各市へ働きかけ、支援事業終了後も各市において高次脳機能障害支援が可能な体制を構築してゆくことが課題である。